

大原大学院大学
管理会計系科目の紹介

准教授 保田順慶

管理会計系科目の紹介 1

管理会計総論

1 年春学期配当 管理会計全体の基礎知識を学ぶ

管理会計特論 I

1 年秋学期配当 原価計算・管理会計論のより深い知識を学ぶ

管理会計特論 II

2 年春学期配当 管理会計論のより深い知識を学ぶ

管理会計系科目の紹介 2

財務諸表分析

1 年秋学期配当 財務諸表分析の手法について学ぶ
学生のプレゼンも実施する

管理会計演習 I・II

2 年春・秋学期配当 ケーススタディに基づいて実践的な管理手
法について学ぶ
学生によるプレゼンテーションを主体とする

履修上の留意点（管理会計系のみ）

【本学修了のための要件】

管理会計系授業科目から **2単位**（1科目）以上

（管理会計演習Ⅰ（ないしは管理会計演習Ⅱ）のみでも当該要件を満たします。）

【公認会計士短答式試験一部科目免除申請のための要件】

管理会計系授業科目から **6単位**（3科目）以上

※注：授業科目に限定せず、演習科目も含む

【税理士試験の試験科目免除のための研究認定申請のための要件】

特になし

履修モデル（税理士志望者）

1年春学期	1年秋学期	2年春学期	2年秋学期
管理会計総論	財務諸表分析		

- ・ 管理会計に関する基礎的な知識を「管理会計総論」で修得してください。
- ・ 「財務諸表分析」は、税理士実務についた際にも必要となってくる知識を習得できますので、是非積極的に履修してください。

履修モデル（公認会計士志望者）

1年春学期	1年秋学期	2年春学期	2年秋学期
管理会計総論	管理会計特論Ⅰ 財務諸表分析	管理会計特論Ⅱ (管理会計演習Ⅰ)	(管理会計演習Ⅱ)

- ・ 管理会計系科目は、すべて公認会計士試験に貢献する知識習得が可能であると考えてください。他の履修科目との兼ね合いで、どこまで履修することが可能かを検討してください。
- ・ 「管理会計特論Ⅰ」では主に原価計算、「管理会計特論Ⅱ」では主に管理会計の各種論点について解説していきます。
- ・ 「財務諸表分析」は、短答式試験のみ出題の分野になりますので、他の管理会計系科目よりは優先順位を下げてもよいでしょう。

履修モデル（一般企業就職志望者）

1年春学期	1年秋学期	2年春学期	2年秋学期
管理会計総論	財務諸表分析	管理会計演習Ⅰ	管理会計演習Ⅱ

- ・「管理会計総論」で、管理会計の全体像を学びましょう。
- ・「財務諸表分析」は、一般企業への就職活動にあたっての企業分析等でも役立ちますので、是非積極的に履修するようにしてください。
- ・「管理会計演習Ⅰ」「管理会計演習Ⅱ」は、管理会計について深く学ぶとともにプレゼン能力の向上にも貢献します。

履修モデル（米国公認会計士志望者）

1年春学期	1年秋学期	2年春学期	2年秋学期
管理会計総論	財務諸表分析 (管理会計特論Ⅰ)	(管理会計演習Ⅰ) (管理会計特論Ⅱ)	(管理会計演習Ⅱ)

- ・ カッコのついている科目は、可能であれば履修することを検討してください。「管理会計総論」と「財務諸表分析」は是非履修しましょう。
- ・ 米国公認会計士試験においては、管理会計系科目はすべて役に立つと考えてください。特に米国公認会計士試験の選択試験科目であるBAR（Business Analysis & Reporting：ビジネス分析と報告）では、原価計算や管理会計に関する知識が問われます。
- ・ 受験資格のためのビジネス単位の取得を考えている方は、担任経由で大原学園の米国公認会計士講座の専任教員に相談したうえで、履修を決定してください。